

2024年2月27日(火)

報道関係者各位

オリザ油化株式会社

オリザ油化株式会社のパッションフラワーエキスが、 タイ国食品医薬品承認局（TFDA）から 新規食品（Novel Food）として承認

オリザ油化株式会社（本社：愛知県一宮市、代表取締役：村井弘道、以下「オリザ油化」）の子会社であるタイ法人の Oryza (Thailand) Co., Ltd.（バンコク、以下「Oryza Thailand」）は、2024年2月16日にオリザ油化が製造・販売をする美容健康素材「パッションフラワーエキス」がタイ国食品医薬品承認局（以下、TFDA）より新規食品（Novel Food）として承認された事を発表しました。

タイ王国では、国内で食経験のない食品や食品原料を販売する際、TFDAから厳しい安全性評価が求められます。承認を得た「パッションフラワーエキス」は、タイ国内への輸入/販売、サプリメントへの配合が可能となります。

Oryza Thailandは過去に桜の花エキスとトマト種子エキスの承認を得ており、今回で3素材目のTFDA受理となります。

■ パッションフラワーエキスについて

オリザ油化では、体内時計を調整し、昼夜のメリハリをつけることによる**乱れた生活リズムの改善・睡眠の質向上素材**として2016年に上市しています。

原産地である北・中南米の熱帯、亜熱帯地方で先住民が鎮静剤として用いており、様々な研究者により、パッションフラワーには睡眠やメンタルに及ぼす働きがあることが報告されていました。同社では「体内時計」（概日リズム）に着目した研究を行い、パッションフラワーエキスの主要成分であるフラボノイドに**時計遺伝子（概日リズムを制御する遺伝子）の発現量増加作用**を見出し、「概日リズム改善剤」として特許を取得しています（特許第7007798号）。

また、2023年2月には、機能性関与成分をパッションフラワー由来フラボノイドとして、日常生活で生じる一時的な活力感の改善作用を有する研究レビューをまとめ、同成分を配合した機能性表示食品の届出が受理されています（届出番号：H987）。

具体的な表示例は以下となります。

「本品にはパッションフラワー由来フラボノイドが含まれます。パッションフラワー由来フラボノイドには仕事や家事などの日常生活で生じる一時的な活力感（元気いっぱい、活力にあふれていたなど）の低下を軽減する機能が報告されています。」



パッションフラワー

また美容訴求の研究も掘り下げており、皮膚バリア機能で重要な働きを担っているフィラグリン (Fillagrin)、インボルクリン (Involucrin)、PPAR α 、PPAR γ 遺伝子発現作用を有し、更に色素沈着に関わるエンドセリン遺伝子発現抑制作用を有することを世界で初めて明らかにし、特許を取得しています (特許第 6909569 号)。